



GLOBAL MAPPING NEWSLETTER 45

第2回地球地図ダカールセミナー

岡谷隆基

国土交通省総合政策局国際建設室国際協力官

平成18年12月4日・5日の2日間、西アフリカのセネガル・ダカールにある同国測量局において、「第2回地球地図ダカールセミナー」を開催しました。このセミナーは、国土交通省がグローバル・マッピング・パートナーシップ・プログラム(GMPP)の一環として、アフリカ地域の地球地図整備を促進するために、国家地図作成機関の職員を対象として開催しているもので、これまで2002～04年にケニア・ナイロビ、2005年にセネガル・ダカールでそれぞれ開催してきました。今回のセミナーの主催者には国土交通省、地球地図国際運営委員会(ISCGM)、セネガル測量局(DTGC)が名を連ね、又国際協力機構(JICA)が後援者として参画しました。

セミナーの目的は以下のとおりです。

- ①地球地図プロジェクトの意義の啓発及びプロジェクトへの参加促進
- ②地球地図データ作成技術の移転及びデータ整備の促進
- ③地球地図データ整備を出発点とした国土空間データ基盤整備の推進
- ④アフリカ地域の国家地図作成機関間の情報交換

セミナー受講生として、中央アフリカ、ガボン、トーゴから各1名、ギニア、マリ、モーリタニア、セネガルから各2名ずつの合計11名が参加しました。開会式では、セネガル国インフラ設備国土海洋運輸大臣、JICAセネガル事務所次長から祝辞を頂きました。

今回のセミナーによって以下の成果を得ました。

- ①セネガルと日本の地図分野での協力関係が一層強化された。
- ②参加国の地球地図プロジェクトに対する認識が深まった。
- ③新たにプロジェクトへの参加表明があった。(中央アフリカ、ガボン、トーゴ、ギニア)

この2日間にわたるセミナーが成功裏のうちに終了したことにより、今後のアフリカ地域における地球地図プロジェクトの推進に対して大きく寄与するものと考えています。



研修風景



アジア太平洋 GIS 基盤常置委員会 (PCGIAP) 理事会及びマップワールドフォーラム

明野和彦
国際交流室長
国土地理院



PCGIAP 理事会

1. 概要

インド国ハイデラバードで、1月21日にアジア太平洋GIS基盤常置委員会(PCGIAP)理事会が開催されました。PCGIAP理事会は、同じくハイデラバードで開催されたマップワールドフォーラム(PCGIAPも関係団体の1つ)に併せて開催されたものです。

2. PCGIAP 理事会

理事会には、オーストラリア、ブルネイ、中国、インド、インドネシア、日本、韓国及びマレーシアの国家測量地図作成機関の代表のほか、GSDI協会からの参加がありました。理事会では、昨年9月にタイ国バンコクで開催された第17回国連アジア太平洋地域地図会議の決議を受けて、地域測地、基盤データ、空間情報活用政府及び組織強化の4つの作業部会から今後3年間の活動計画案の報告がありました。また、PCGIAP事務局を6年間務めた国土地理院から中国国家測絵局へ事務局業務引継が完了したことを報告されました。その他、PCGIAPの関係機関からの報告として、地球地図プロジェクトの現状報告と地球地図第1版の完成に向けた一層の協力依頼が行われました。

また、韓国国土地理情報院の代表より、2007年6月12～15日に韓国ソウルで開催する第13回PCGIAP総会の計画案の報告がありました。6月12日には、PCGIAPとGSDI協会との共催による、SDIの構築に関する空間情報活用政府及び法的・経済的政策に関する問題をテーマとしたワークショップを開催することとなりました。

3. マップワールドフォーラム

地理情報に関連する政府・国際学術団体・企業等関係者、約1500人が参加し、公的利用、技術動向、投資効果、能力開発等について発表・意見交換が行われました。フォーラムは、インドで地理情報整備を担当する科学技術省が後援をしており、開会式では、インドの科学技術事務次官・担当大臣、マレーシアの天然資源・環境大臣等から挨拶がありました。

フォーラムでは、国際写真測量学会(ISPRS)会長、国際地図学協会(ICA)会長、国際測量者連盟(FIG)会長、GSDI協会次期会長等の地理情報関係団体の長を初めてとして、高解像度衛星画像配信、GISソフトウェア等の多くの企業関係者等からも発表がありました。全体会合では、PCGIAP会長のピーター・ホルランド氏が、技術動向のセッションの座長を務めました。

また、フォーラム会場では、展示が行われ、インド測量局、インドネシア測量局も参加していました。インドネシア測量局のブースでは、地球地図を紹介するパネルが展示されていました。

アジア太平洋基盤データ整備 PCGIAP ワーキング・グループ 2

ベバス・プルナワン

ネットワークシステム・空間データ基準化センター長
インドネシア測量地図調整局 (BAKOSURTANAL) ナショナルアトラスセンター



ベバス・プルナワン氏

アジア太平洋地域基盤データ整備は2002年の沖縄における第12回国連アジア太平洋地域地図会議で発表されたPCGIAP決議を踏まえたものです。本決議ではアジア太平洋地域基盤データ整備は地球地図プロジェクトや第二次行政界(SALB)プロジェクトと協力し開始するよう述べています。

それ以来、PCGIAPではアジア太平洋基盤データ仕様の整備や津波データ整備のパイロット・プロジェクトなどの取り組みを行っています。

アジア太平洋基盤データ仕様は2004年に発表されました。本仕様は地球地図仕様を修正したものです。その違いはデータ保管方法にあります。アジア太平洋基盤データ仕様はデータを継ぎ目のない方法で保管しますが、地球地図仕様ではデータをシート毎の方法で保管します。その他、空間参照、解像度、地物分類および地物属性などは同一です。

アジア太平洋基盤データ整備はPCGIAPのパイロット・プロジェクトで始まりました。本パイロット・プロジェクトはインド洋周辺の2004年の津波の被災国を範囲とする基盤データ整備から成り立ちます。本プロジェクトはアジア太平洋基盤データ整備の基礎となるとともに、地域レベルのこうした出来事へのPCGIAPとしての対応でもあります。

本パイロット・プロジェクトはバングラデ

シュ、ブルネイ・ダルサラーム、カンボディア、中国、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、シンガポール、スリランカ、タイ、ベトナムの各国、PCGIAP-WG1、地球地図プロジェクトおよびSALBプロジェクトで構成されるチームにより実施されています。本パイロット・プロジェクトの調整役はインドネシアです。本パイロット・プロジェクトは2006年に開始されましたが、改訂段階にあり、2007年中に完成予定です。

津波基盤データの仕様は以下のとおりです。

- 1、解像度：100万分の1
- 2、水平精度：1000メートル
- 3、データ形式：ESRI shape file
- 4、データ源：地球地図データ (GMver0)
- 5、測地系：WGS84
- 6、地図投影法：地理投影法（緯度、経度）
- 7、範囲：バングラデシュ、インドネシア、インド、マレーシア、ミャンマー、スリランカ、シンガポール、タイ
- 8、河川、道路および人口集中域の属性情報は地球地図仕様に準拠し、行政界は第二次行政界データ・プロジェクト (SALB) に準拠します。

2007年1月21日にインド・ハイデラバードで開催されたPCGIAP理事会で報告されましたが、PCGIAPワーキング・グループ2は津波データの完成後も2008年にアジア太平洋基盤データ整備を継続します。



人口集中域レーヤ

事務局から

委員長より

地球地図プロジェクト参加各国への要請

2007 年における地球地図全陸域完備に向け、地球地図プロジェクト参加各国における地球地図データを事務局に至急送付するよう要請します。

なお、地球地図データの整備に関し不明な点がある場合には、事務局宛照会願います。

ISCGM WG4 からの協力要請

ISCGM WG4（ラスターデータ担当）では、Global Land Cover by National Mapping Organization (GLCNMO) の整備を進めています。GLCNMO は、約 20 の土地被覆項目を持つピクセルサイズ 1km のデータで、2003 年に観測された MODIS データを用いて作成されます。

2006 年において約 1000 箇所の地上検証データ（土地被覆トレーニングデータ）の収集を各国の NMO の協力により実施しました。これら各国の NMO から協力を頂いた地上検証データを参考に、現在 WG4 では、データの最終調整を行っております。

2007 年 7 月に事務局から GLCNMO 試作版を各国の NMO へ送付し、エラーチェックを行っていただき、エラーチェックの結果を 2007 年 9 月末までに事務局に返送下さい。

エラーチェックの結果を反映させた GLCNMO 修正版を 2008 年 3 月までに完成させ、ISCGM ホームページより公開する予定です。

つきましては、各国の NMO におかれては、今後送付する GLCNMO 試作版へのエラーチェックに協力願います。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2007 年

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">• 4 月 30 日～5 月 4 日、エチオピア、アディスアベバ
UNECA-CODI-V• 5 月 31 日～6 月 1 日、イタリア、ローマ
第 24 回 ISO/TC 211 本会議• 6 月 12 日～15 日、韓国、ソウル
第 13 回 PCGIAP 年次会合• 6 月 5 日～9 日、米国、カリフォルニア州サンフランシスコベイ
第 5 回デジタル・アース国際シンポジウム• 6 月 27 日～29 日、モンゴル、ウランバートル
優れた土地管理に関する国際ワークショップ
－経済発展におけるその役割－ | <ul style="list-style-type: none">• 7 月 14 日、英国、ケンブリッジ
第 14 回 ISCGM 会合• 7 月 15 日～20 日、英国、ケンブリッジ
ケンブリッジ会議• 8 月 4 日～10 日、ロシア、モスクワ
第 XXIII 回国際地図学会議• 9 月 17 日～21 日、ブルキナファソ、ワガドゥガー
アフリカ GIS 2007• 12 月 1 日～2 日、中国、西安（予定）
第 25 回 ISO/TC 211 本会議 |
|--|--|

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305 - 0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院

Tel: 029 - 864 - 6910 Fax: 029 - 864 - 6923

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org